

日本規格協会規格（JSA 規格） 「コールドチェーン物流規格 JSA-S1004」を開発・発行

2020年6月30日
一般財団法人 日本規格協会

一般財団法人日本規格協会（本部：東京都港区、理事長：揖斐敏夫）は、コールドチェーン物流規格 JSA-S1004『コールドチェーン物流サービス-低温保管サービス及び低温輸送サービスに関する要求事項』（Cold chain logistics services -Requirements for low temperature storage services and low temperature transport services）を2020年6月30日に発行いたしました。

新型コロナウイルスで物流需要が一層増加する昨今、日本語だけでなく英語でも開発されたこの JSA 規格の普及を通して、ASEAN をはじめとする国々の物流事業者、食品製造業者及び流通事業者によるコールドチェーン物流の質の向上につながることが期待されています。

JSA 規格とは

多様な規格開発の潜在的なニーズを持つ様々なステークホルダー（企業、団体、政府機関、学会など）からの相談・依頼を受け、日本規格協会が開発・発行する民間規格が JSA 規格です。2017年6月の制度創設以来、依頼主の自主的な規格作成の取組みに対し、標準化の専門機関である日本規格協会が、質の高い、効率的な規格開発のプロジェクトマネジメント支援を提供し、透明性・公平性及び客観性を確保した JSA 規格を迅速に開発しています。

コールドチェーン物流規格 JSA-S1004 発行の経緯

食生活の多様化、食の安心・安全に対する意識の高まり、食料紛失・廃棄の削減などから、流通段階における温度管理を伴う質の高いコールドチェーンの需要が高まっています。特に ASEAN 各国の需要に対応するため、我が国の多くの食品製造事業者及び物流事業者が現地に進出し、当該国の食生活及びコールドチェーンを支えています。こうした中、2018年、ASEAN におけるコールドチェーン物流の質を高めるため、日本の国土交通省が ASEAN の交通担当省とともに策定した“日 ASEAN コールドチェーン物流ガイドライン”の内容に準拠し、物流事業者が荷主との間で締結する契約の一部として用いることができるよう、要求事項を規定するこの JSA 規格を開発いたしました。

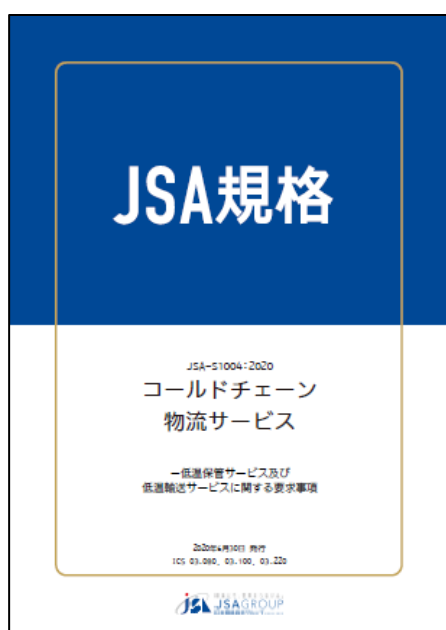
この JSA 規格は、“事業者間”（Business to Business: B to B）における、食品を対象貨物とした、倉庫事業者による低温保管サービス及び輸送事業者による陸上での低温輸送サービスを対象としています。日本規格協会は、B to C に対する同種の JSA 規格（JSA-S1018：2017年11月15日発行）の開発や当該規格をベースにした国際規格（ISO 23412：2020年5月28日発行）

開発の知見を活かし、B to B 向けの要求事項を汎用性の高い文書として規格化し、物流規格範囲を拡大・整備することが、物流業界全体の品質向上に貢献できるのではと考え、コールドチェーン物流規格 JSA-S1004 を開発・発行いたしました。

お問い合わせ

一般財団法人日本規格協会 JSA 規格事務局

E-mail : jsastandard@jsa.or.jp



コールドチェーン物流規格 JSA-S1004 は、日本規格協会の HP から検索できます。

<https://www.jsa.or.jp/dev/jsas>

ISO 23412 及び当該国際規格開発担当 ISO/PC315 の紹介は、日本規格協会の HP で確認できます。

• ISO 23412

https://webdesk.jsa.or.jp/books/W11M0090/index/?bunsyo_id=ISO+23412%3A2020

• ISO/PC315

https://webdesk.jsa.or.jp/common/W10K0500/index/dev/isopc_315/